

母子生活支援施設入所世帯（母親）の状況

1 児童数

調査日（平成 15 年 2 月 1 日）現在における母子生活支援施設入所世帯数は 4,343 世帯となっており、前回調査（平成 10 年 2 月 1 日）の 4,233 世帯より 110 世帯（2.6%）増加している。

母子生活支援施設入所世帯を児童数別にみると、「1 人」が 54.2%（前回 54.9%）と最も多く、次いで「2 人」が 31.7%（前回 31.7%）となっている。

表 2 2 児童数別母子生活支援施設入所世帯数

総数	1人	2人	3人	4人以上	不詳
4,343	2,356	1,377	475	129	6
100.0%	54.2%	31.7%	10.9%	3.0%	0.1%

2 入所理由及び在所期間

(1) 入所理由

母子生活支援施設への入所理由は、新たに項目として加えた「配偶者からの暴力」が 28.4%で最も多く、「経済的理由による」の 26.8%（前回 30.0%）、「住宅事情による」の 16.0%（前回 20.3%）がこれに次いでいる。前回最も多かった「入所前の家庭内環境の不適切」は 14.7%（前回 38.2%）となっており、今回の新たな項目である「配偶者からの暴力」に分別されたと考えられる。

表 2 3 入所理由別母子生活支援施設入所世帯数

総数	入所前の家庭内環境の不適切による	母親の心の不安定による	職業上の理由による	住宅事情による	経済的理由による	配偶者からの暴力	その他	不詳
4,343	640	149	18	695	1,166	1,234	250	191
100.0%	14.7%	3.4%	0.4%	16.0%	26.8%	28.4%	5.8%	4.4%

(2) 在所期間

母子生活支援施設へ入所してからの期間は、「5 年未満」が 80.6%（前回 75.9%）と大部分を占め、「5 年未満」の中でも「1 年未満」31.6%（前回 27.6%）、「1 年」20.1%（前回 19.9%）となっている。

表 2 4 在所期間別母子生活支援施設入所世帯数

総数	5年未満	1年未満	1年	2年	3年	4年	5～9年	10年以上	不詳
4,343	3,502	1,373	874	575	396	284	653	181	7
100.0%	80.6%	31.6%	20.1%	13.2%	9.1%	6.5%	15.0%	4.2%	0.2%

3 入所時の年齢

母子生活支援施設入所世帯の入所時の母親の年齢は、30 歳代が 48.7%（前回 45.5%）と約半数を占め、次いで 20 歳代が 32.1%（前回 32.8%）、40 歳代が 15.9%（前回 16.6%）となっている。

表 2 5 入所時の年齢別母子生活支援施設入所世帯数

総数	20歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50歳以上	不明
4,343	61	409	985	1,206	908	477	213	76	8
100.0%	1.4%	9.4%	22.7%	27.8%	20.9%	11.0%	4.9%	1.7%	0.2%

4 母子世帯になった理由

母子世帯になった理由は、「離婚」が66.7%（前回69.1%）と最も多く、次いで「未婚の母」の13.7%（前回15.0%）となっている。

表26 母子世帯になった理由別母子生活支援施設入所世帯数

総数	死別			離婚	遺棄	生死不明	未婚の母	その他	不詳
	病死	交通事故死	その他						
4,343	52	5	17	2,897	149	12	593	581	37
100.0%	1.2%	0.1%	0.4%	66.7%	3.4%	0.3%	13.7%	13.4%	0.9%

5 年金等の受給状況

年金等の受給状況は母子生活支援施設入所世帯の7割以上が「児童扶養手当」75.7%（前回83.3%）を受給しており、次いで「児童手当」を受給している世帯が39.1%（前回15.4%）と多いが、「国民年金」等の各種年金は全部を合計しても2.4%（前回3.6%）と1割にも満たない。

表27 年金等の受給状況別母子生活支援施設入所世帯数

総数	受給あり（重複回答）									受給なし
	国民年金			厚生年金 船員保険	共済年金 等	児童手当	児童扶養 手当	特別児童 扶養手当	その他	
	母子年金	遺族基礎 年金	その他							
4,343	5	42	47	7	2	1,697	3,289	109	316	660
	0.1%	1.0%	1.1%	0.2%	0.0%	39.1%	75.7%	2.5%	7.3%	15.2%

6 公営住宅入居希望の有無及び現在の状況

(1) 公営住宅入居希望

公営住宅入居希望は、母子生活支援施設入所世帯の56.4%（前回55.0%）で過半数を超えている。

表28 公営住宅入居希望の有無別母子生活支援施設入所世帯数

総数	あり	なし	分からない	不詳
4,343	2,449	902	982	10
100.0%	56.4%	20.8%	22.6%	0.2%

(2) 現在の状況

現在の状況は、「適当な住居さえあれば退所できる」という者が27.4%（前回27.0%）、「末子が18歳になるまで退所困難」という者が15.9%（前回21.3%）、「1年以内に退所の見込み」という者が10.0%（前回8.3%）、「3ヶ月以内に退所の見込み」の者が7.6%（前回6.9%）となっている。

表29 現在の状況別母子生活支援施設入所世帯数

総数	3か月以内に 退所の見込み	1年以内に退 所の見込み	適当な住宅さ えあれば退所 できる	末子が18歳に なるまで退所 困難	その他	不詳
4,343	328	434	1,188	690	1,657	46
100.0%	7.6%	10.0%	27.4%	15.9%	38.2%	1.1%

7 従業上の地位及び仕事の種類

(1) 従業上の地位

母子生活支援施設の入所世帯の母親の75.2%(前回81.3%)の母親は就業している。就業している母親は、「臨時・日雇・パート」が51.1%(前回46.8%)と最も多く、「常用勤労者」が22.4%(前回32.2%)とこれに次いでいる。

前回調査に比べて、「常用勤労者」が減り「臨時・日雇・パート」及び「不就業」が増えている。

表30-1 従業上の地位別母子生活支援施設入所世帯数

総数	事業主	常用勤労者	臨時・日雇・パート	その他の就業	不就業	不明	不詳
4,343	9	973	2,221	63	1,058	8	11
100.0%	0.2%	22.4%	51.1%	1.5%	24.4%	0.2%	0.3%

なお、不就業の理由であるが、最も高い割合であったのは、「条件にあった求人がない」で26.7%(前回22.0%)、次いで、「精神的・身体的障害がある」の16.4%(前回17.7%)、「疾病がある、もしくは虚弱である」の15.3%(前回19.9%)であった。

表30-2 不就業の理由別母子生活支援施設入所世帯数

総数	講習等で就業準備中	保育が確保できない	乳児がいる	条件にあった求人なし	就労習慣がない	就労意欲が乏しい	疾病・虚弱である	精神的・身体的障害がある	児童に障害・疾病がある	不詳
1,058	95	83	42	282	49	75	162	174	87	9
100.0%	9.0%	7.8%	4.0%	26.7%	4.6%	7.1%	15.3%	16.4%	8.2%	0.9%

(2) 仕事の種類

就業している母親について仕事の種類をみると、前回と順位は変わらず、「技能工・生産工程作業員及び労務作業員」が27.4%(前回34.2%)と最も多く、次いで「サービス業従事者」26.0%(前回17.7%)、「事務従事者」14.5%(前回15.7%)となっている。

表31 仕事の種類別母子生活支援施設入所世帯数

総数	専門・技術	管理	事務	販売	農林・漁業	運輸・通信	技能・生産等	保安職業	サービス	その他就業者	不詳
3,285	330	9	476	417	4	47	899	18	853	220	12
100.0%	10.0%	0.3%	14.5%	12.7%	0.1%	1.4%	27.4%	0.5%	26.0%	6.7%	0.4%

注)「不就業」を除く。

8 転職希望の有無

就業している母親のうち、転職を希望する母親は27.2%(前回25.7%)、転職希望のない母親は51.4%(前回56.9%)となっている。

表32 転職希望の有無別母子生活支援施設入所世帯数

総数	あり	なし	分からない
3,285	894	1,690	701
100.0%	27.2%	51.4%	21.3%

注)「不就業」を除く。

9 年間所得

母子生活支援施設入所世帯の平成 13 年の年間所得分布は、表 33 のとおりとなっている。「不明」を除いた分について「平均所得金額」をみると、171 万 2 千円となっており、一般家庭の 602 万円（平成 14 年国民生活基礎調査の結果による）の 3 割程度に止まっている。

表 3 3 年間所得別母子生活支援施設入所世帯数

数 総	100万円 未満	100～199 万円	200～299 万円	300～399 万円	400万円 以上	不 明	平均所得 金 額
4,343 100.0%	546 16.2%	1,732 51.4%	910 27.0%	151 4.5%	32 0.9%	972 -	171.2 万円

注) 構成割合及び「平均所得金額」は総数から不明を除いて算出

10 母子生活支援施設に入所している児童の虐待経験の状況

今回の調査から新たに質問項目として設定した「虐待」に関しては、「虐待を受けたことがある」が全体の 18.5%であり、男子 20.0%、女子 16.9%で男子の割合が高い。

表 3 4 虐待を受けた経験別母子生活支援施設入所児童数

	実 数	あ り	な し	不 明	不 詳
総数	7,089 100.0%	1,311 18.5%	5,256 74.1%	504 7.1%	18 0.3%
男	3,565	20.0%	72.7%	7.0%	0.3%
女	3,484	16.9%	75.6%	7.2%	0.2%

注) 総数には、性別不詳を含む。